

3/3 JR東日本と第2回 賃金改善・夏季手当交渉!

会社の現状認識

- ◇訪日外国人旅行客数が年間3600万人を超えるが、インバウンド需要の当社エリアへの取り込みをはじめ、さらなる増収にむけた努力が必要。
- ◇営業費用についても修繕費をはじめ全体として増加傾向にあり、固定費の占める割合の高い鉄道事業の特性を踏まえ、増収とコストダウンに取り組んでいかなければならない。
- ◇今後、金利等の環境変化が想定されるなど、厳しい経営環境に変わりはない。

組合の主張

- ★初任給を引き上げることで、人材の確保をするべきだ!
他企業と比較しても遜色のない初任給を求める!
- ★職場の中心的中堅社員にも手厚い処遇をするべきだ!
子育て、住宅ローンを抱えて出費が多い年代!
- ★エルダー社員の大幅な賃金引上げをするべきだ!
初任給と同等程度では生活していけない!

会社の「融合と連携」施策により、現場では職種やエリアを超えて、収益確保・コスト削減に全社員一丸となって取り組んでいる。

会社は、増収増益に貢献している

社員の頑張りに応えよ!